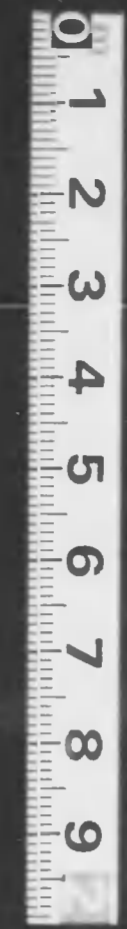


寫眞週報

編輯局報情
第七十號 第二百廿三日 五月三十日



野良も戦場だ

澁紙色に陽焼した皮膚を汗に光らせて

あら土を耕し、しこ草を抜き

ひたすらに食糧の増産に敢闘してきた君等

農士の努力に實る豊穰な収穫があればこそ

大東亞戦も戦ひ抜けるのだ

田植の季節だ、麥秋だ、また農繁期だ

遠い宗祖から賜はった種子を

この國土中に満たさう



★ 隊編大機鋭新軍陸へ問訪都帝 ★

日七十二月四

身の置き所もないインド洋

わが海軍航空部隊英二甲巡撃沈

撮影 海軍航空部隊

四月五日早朝から開始されたわが海軍部隊の雄渾無比なインド洋大作戦はインド洋上の英因イ最大軍事據点コロンボその他を強襲し、イギリスの東洋における残存艦隊主力に殲滅的打撃を與へたが、この作戦において、セイロン島南方三百数十哩の洋上を全速力で逃走中の敵甲級巡洋艦「ドーゼットシャー」を発見し、必中の巨弾を浴びせ、瞬間にしてインド洋の底深く葬り去つたが、その際におけるわが海軍航空部隊の戦果を記録する記録である



たれは敵に鐘鳴もく早に始開爆猛の驚海がわは隻二



上西向 間隔なし没を影艦のルーオウコ 3
物遊浮と目組乗艦敵は見えと物



沈いつし無傾に射右ルーオウコ 2
物遊浮と目組乗艦敵は見えと物



艦七生を陣故に機舵(巡甲)ルーオウコ 1
たし正停に還り失る由の



ヤシトアゼード ルーオウコ 巡甲英



直垂に上を首艦ヤシトアゼード 3
間隔なし没を影艦のルーオウコ



りたし何横ヤシトアゼード 2
るあし上を首艦ヤシトアゼード



わが(巡甲)ヤシトアゼード 1
中命事見弾爆

金徳島マニラ金産

クリスマス島占領



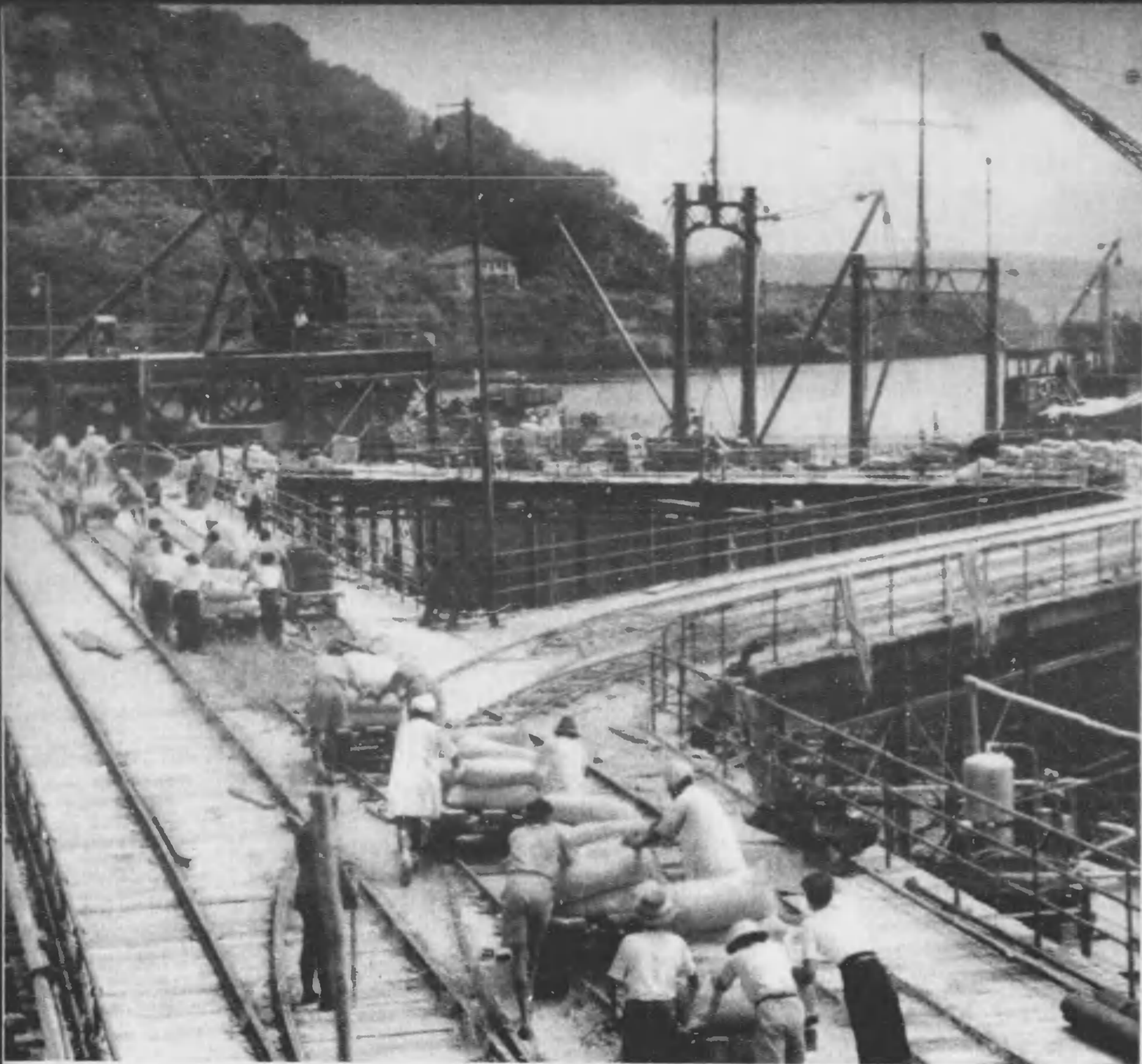
軍海軍艦に備わりの内島

クリスマス島で採取された燐礦約千五百トンは在島人の協力で積出される

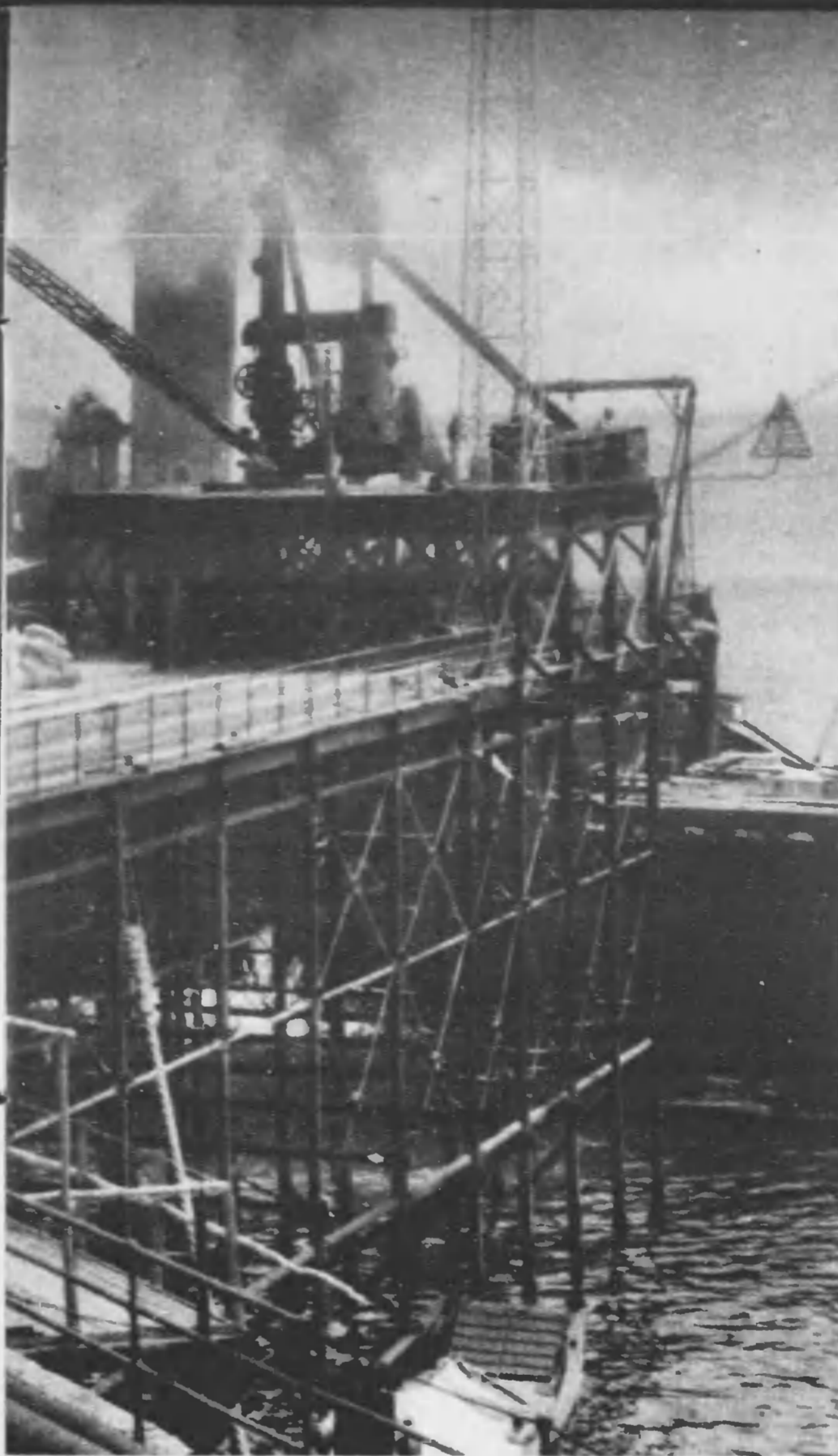
クリスマス島の贈答品ではなからうが、その名もクリスマス島といふ英領の一小島が、わが海軍艦隊の砲撃に一たまりもなく全島に白旗を掲げて降伏したのは去る三月の下旬であつた。

ジャバ島の南方にボツンとゴマ粒位の大きさで地図に描かれてゐるこの島は昭南島の約四分の一の大きさがあり、全島は石灰岩からできて上つてゐる。クリスマス島が小粒ながら世間の注目を浴びてゐるのは、實は肥料としてなくてはならない燐礦石（燐酸肥料の原料）が無盡蔵に採取されるからである。

上陸したわが海軍部隊は早くもこの島の價値を認め、島の住民たちの協力を得て、肥料の少ない内地へ少しでも良質の燐酸肥料を贈らうと燐礦石の採掘を始め、内地向け積出しに大急である。



○隊長は在島の中国人、インド人、インドネシア人に大東亞戦争の眞意を説く
撮影 佐伯海軍報道班員



△全島に露頭してゐる燐礦地帯。あるぞ肥料が内地にも聞えとと萬歳を叫ぶ上陸部隊
ある！ある！燐礦の山





敵の打ち出してくる弾丸が近くまで水しぶきをあげる。機銃の掩護下、架橋を急ぐわが工兵隊



河幅は狭く流れも激しい。だがそんなことはつておられない。前線から河中に飛びこんで

マンタレー
敵前架橋 ビルマ戦線

英蔭合作軍の要衝マンタレーはつひにわが陸軍部隊の猛攻によつて陥落した。ラングーン突入以来、五十三日目である
即ち、ラングーン失陥以来、敵は蒋介石直系羅卓英麾下の機械化部隊を總動員して北ビルマの防衛に狂奔しつゝあつたが、われはこれに對し三月下旬果敢な行動を開始し、百三十餘度の交戦を闘ひ、悪疫を克服して隨所に敵を打ち破りつゝその最大の據點マンタレーを攻略、五月一

日完全にこれを占領したのであつたかくてビルマ・ルートはこゝに全く封鎖され、わが對重慶處理は今後併段の進展を豫想されるに至つたわけであるが、同時にまたこれによつてわが陸軍部隊のインドに對する進攻態勢が確立され、わが海軍部隊のインド洋制壓と相俟つてインド人の自覺を促し、インド解放の機運をますます押しすすめたものといはねばならない

撮影 日本映画社



酷熱の征野七キロ、一路マンタレーへ。橋梁を渡つて前進するわが部隊

大東亞戰爭日誌

三月
二十六日 ●午前九時四十分、ビルマ方面作戦軍はトラワジ河畔の要衝アロームを完全占領
十九日 ●海軍は三月三十一日モルッカ諸島と西部ニューギニア北半の攻勢を開始し、本日同方面の謀略を完全占領。この方面における戦果、俘虜百二十四、擄獲品、銃器七百十五挺、彈藥六万八千三百、内火艇五隻その他がソリン、黄麻、棉花多量

二十日 ●海軍は四月一日以後ポートモレスビー、およびポートダーウィンに對する敵の攻撃と、味方基地に飛來せる敵機との交戦によつて本日まで敵機六十六機を撃墜、二機を撃破。この間我方の損失六機
二十一日 ●支那派遣陸軍軍は十九日東部支那一帯の敵航空基地に對し連續的に攻撃を加へ、衢州、麗水、玉山、吉安飛行場の格納庫、滑走路、附屬施設その他集積資材燃料を燒却または炎上

二十三日 ●支那方面海軍は陸軍と緊密なる共同作戦の下に二十一日、二十二日、二十三日と衢州、麗水、玉山の敵飛行場に反復攻撃を敢行、燒却なる地上砲火を同じつ飛行機格納庫を炎上または破壊

四月
二日 ●午前一時三十分、ビルマ方面作戦軍はトラワジ河畔の要衝アロームを完全占領
十九日 ●海軍は三月三十一日モルッカ諸島と西部ニューギニア北半の攻勢を開始し、本日同方面の謀略を完全占領。この方面における戦果、俘虜百二十四、擄獲品、銃器七百十五挺、彈藥六万八千三百、内火艇五隻その他がソリン、黄麻、棉花多量

二十四日 ●支那派遣陸軍軍は四月中旬終了の山東半島制覇作戦において巧みに分散せる敵を捕獲し、戦果を交ふるに五十五回、敵を斃すこと七百八十七、擄獲兵器の主なものは擄獲砲二門、小銃四百二十七挺のほか擄獲せる兵食兵器、被服倉庫、工場十五。また支那共済軍討伐戦は玉田東北地區の大小二百餘の割草機地を逐次潰滅中

二十九日 ●朝四時過ぎ、比島派遣陸軍はミンダナオ島コタバト附近の上陸に成功、戦果を擄獲中
五月
一日 ●ビルマ方面陸軍は三月下旬以降、英、重慶聯合軍を隨所に撃滅しつゝあつたが、本日ビルマの要衝マンタレーを攻略し、その軍事據點を完全に崩壊せしむ

新馬來

永久にと、かぬ招待状

プリンスオウ・ウエールズ沈没秘話

頁数アリス・オウ・ウエールズ、戦艦レバルス以下の大艦隊はその日、セレータ軍港に投錨した。昭和十六年十二月二日の午後二時すぎであった。

数日の後、英海軍部はその二大艦隊の空襲を市内の各新聞社に許すことになったが、あるマレー新聞社だけは招待状がとどかなかつた。不審に思つた編輯長は英海軍部へ出かけて行つた。うちには、どうして許可してくれんぞか、英軍将校は答へた。『マレー新聞社には一枚の招待状しか用意してゐない。それは既に送達済みである』

當時、市内には二種のマレー語新聞が発行されてゐたのである。編輯長は驚いて聞いた。『一社だけとは、をかしてすな。うちから二、三名出かけたとして満員になるほど軍艦は小さいものでありませうか』編輯長は、しぶしぶ上官室へ入つて行き、間もなく傲然と戻つて来た。理由は

★煙草と俘虜
馬場の戦、文字通りのこの書物はヒブタリとあてはまるのが所望A、B、C、D、E、F、つまり大東亞戦争の戦さだ。馬を並べて陣よく俘虜となつたこの物語は、よく見るとがらゝにもつくりとみることをかざるではないか。重軍兵士から給與された一本の煙草をくゆらせながら、彼等はしみじみと思ふのであつた。嬉しい家族運と、楽しい家庭生活と、そして不甲斐ない捕虜へ



貴社の『煙草と俘虜』と題されたお礼の書が在る。これは、現在におき、再度の発行は永久に不可能と相成り、理由は昨日マレー軍のため南艦隊は火曜日の夜を待たざるに決つた。但し、通過日の下、其の不満なる意見表示に際する補償として、南艦隊の煙草及び當時の状況等に就き十分なる資料の用意有之候故、自由に發表相成度右念の録申添へる次第にて候。草々、英海軍部

二つの井と二人の囚人

彼は露傍でシロップを賣る貧しい露天商人であつた。その日も彼は露傍道具をかきいで、市場へやつて来た。味のいゝのが評判で、類なじみのお客で店はずんずん沸かした。湯をさますために、彼は一つの井から別の井へ入れかへて、極めて慢々な處法を試みてゐた。

突然背廣の男が客を押しつけて出てくると、その場から彼を驚かすつれこんで、怒り刑務所入りの宣告が下された。『お前は一個の井を使つて日本の飛行機へ積載した。お前は第五列だ。これが理由であつた。不幸な善良なこのマレー人には、何としても事情がのみこめなかつたが、同じ刑務所にゐる多くの青年たちに愉快な笑ひを提供した。若人たちはマレー青年同盟の闘士であつた。(以上 北町 一郎)

兵隊の贈つた大正琴

義母の書置にカッ子ちゃん救はる

此ノ家ノ莫シクナ日本少女澤田カッ子サンヲ可愛クサテ下サイ一兵士

昭和十六年六月日
不幸ナル日本少女澤田カッ子サンニ

市川定雄 神奈川出身
高橋良郎 浦野 雄 浦野 雄

国民映画、国民演劇脚本募集

大東亞戦争進行下映画、演劇に課せられた使命は甚大である。情報局は本年度も積極的な脚本を募集して、国民映画、国民演劇樹立促進の一助とする事となつた。こゝに招待するものは生硬なる時局便乗的なものではない。鮮やかな國民理想と健全、明朗、清静なる國民生活とを表現し、藝術的価値高く、観衆と潤ひと力とを興へるものである。

募集規定

- 一、題材、時代等は自由、本邦の創作とする(但し脚本は漢語に用ひらる)
- 二、体裁、映画脚本は四千字、演劇脚本は五千字以内(但し演劇脚本は四千字、映画脚本は五千字以内)
- 三、(選考) 昭和十七年九月末日
- 四、(送附) 東京市神田区西神田一丁目二番五号 国民映画館 脚本募集係
- 五、(賞金) (映画) 一等 金五千圓、二等 金二千圓、三等 金一千圓、(演劇) 一等 金五百圓、二等 金三百圓、三等 金二百圓
- 六、(審査員) (映画) 伊藤大輔、田代百合子、木暮実千代、山田五十鈴、牛原寿子、高橋貞二、木暮実千代、山田五十鈴、牛原寿子、高橋貞二、木暮実千代、山田五十鈴、牛原寿子、高橋貞二
- 七、(送附) 昭和十七年九月末日
- 八、(その他) 応募者名簿の送附に際しては、必ずしも脚本の送附を要するものではない。但し、送附するものは必ずしも脚本の送附を要するものではない。

文部省推薦映画

文化映画 『海』 四
文化映画 『勝利の基礎』 六
推薦理由 この映画は海軍兵学校生徒の規律正しい生活や多方面にわたる学科訓練の詳細を同時録音で描き、如何に精神教育に重点が置かれてゐるかを説得させる迫力を持つものである。聞く傳統のうちに厳正なる指導と潤育によつて鍛へ上げられた軍人精神こそ皇軍戦闘力の根源をなすものである。今度の大東亞戦争の勝利の基礎たる所以を教へ國民に感奮を興へるものがある。

赤だまと白たまの撃ち分け

シテ攻略にチャールズ給與活躍

シテ攻略にチャールズ給與活躍
シテ攻略にチャールズ給與活躍

シテ攻略にチャールズ給與活躍
シテ攻略にチャールズ給與活躍

シテ攻略にチャールズ給與活躍
シテ攻略にチャールズ給與活躍

シテ攻略にチャールズ給與活躍
シテ攻略にチャールズ給與活躍



お相様さん

子供はいつても、それとて大の仲よしだ。ましてもお相様は日本の子供に懐いたのだ。お相様は懐いたのだ。お相様は懐いたのだ。

敢へて征く

一等兵 手島龍藏
みことのりのまに地の果て海の涯に
仇とあらば敢へて征くなり
思ひ残す何物もなく遠く送らば
この貧弱のもとに死なばや
おこそかに擧げむとかちたしより
幾億人の和す凱歌なれば
つゝまじりこゝにも人の住めるら
ゴム林の奥にもれる灯のあり
八本の指を指してし告げし
朱樂も子に吾子を思ひぬ



立ッテ センセイニ オコタヘ スルトコロ

名古屋市東区古新国民学校一年生

加藤佳子



冬の夜

名古屋市西田用郡大倉村国民学校六年生

吉住保



板橋橋

在年四校學民國民見若區橋本市京東

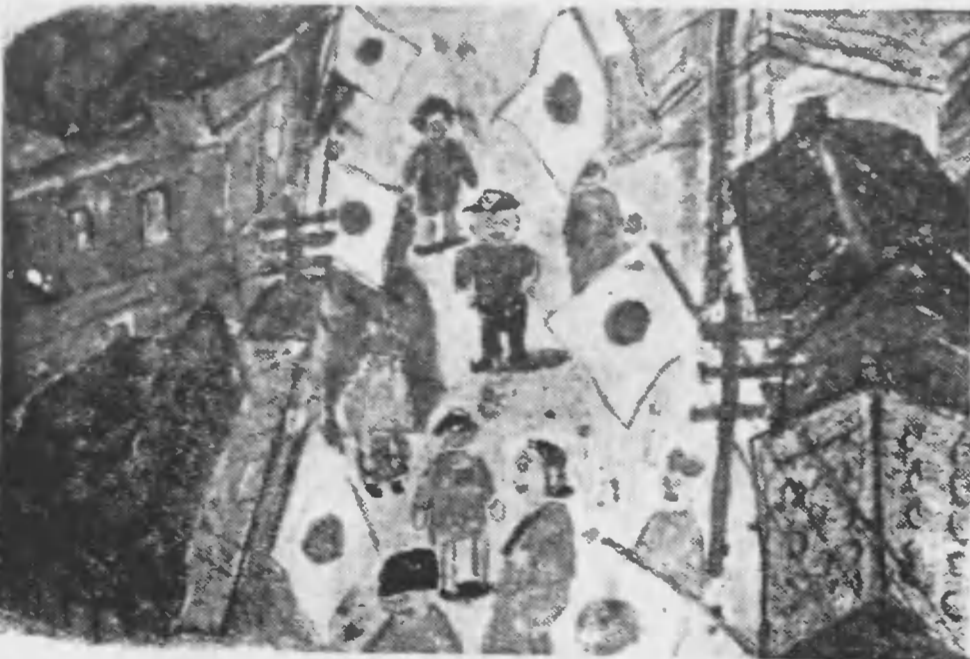
敵上陸



出上雄秀

在年一校學民國口ノ江市加高

兵隊さん



町である出の族國

名古屋市東区土川國民學校三年生

正南合落



出陣兵を待つ

名古屋市東区東區國民學校五年生

三子田岩

米ラカガイカステ 兵隊ガシカ

らかキガハエ問慰線前の徒生校學民國國全集募館物博信選

葛西久子

在年二校學民國村小村川三西區濱佐區高新

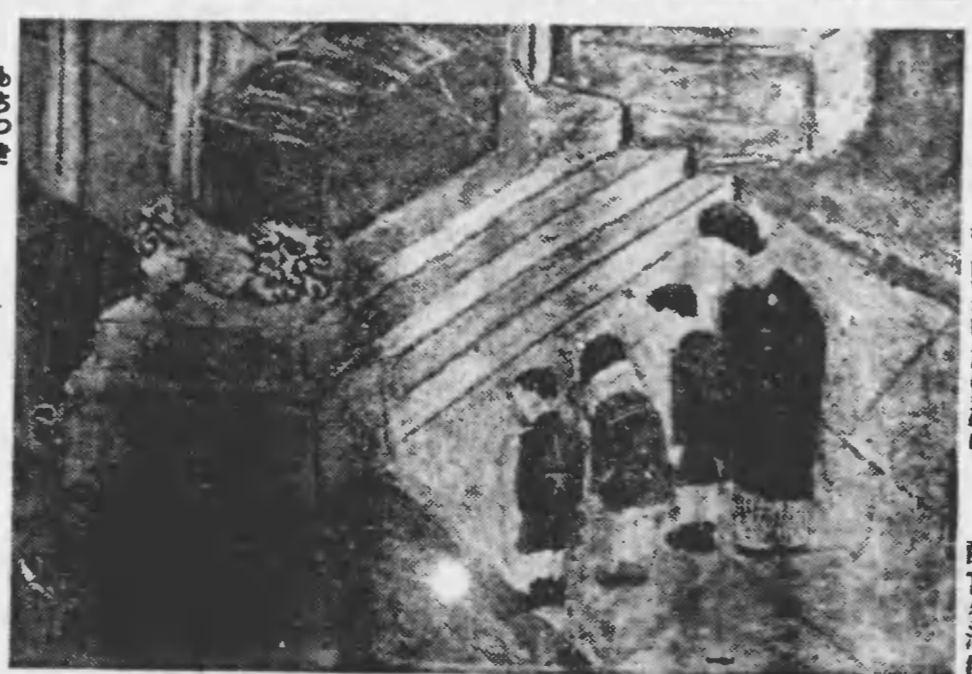
開閉そのまき



おちつき

名古屋市東区井野中川國民學校三年生

子英英矢土



大昭華日一億こぞつて戦勝祈願

名古屋市東区井野國民學校五年生

枝津多宮西





シロンにおける米の出廻りは極めて活発だ。運河には数々のジャンクがならび、ジャンクから倉庫へ華僑がせせと運搬を運んでゐる。

わね／＼が毎日食べてゐる外米も主としてこのサイゴン米で、現に多量のサイゴン米が三井物産の手を経て内地に輸送されてゐるのである。佛印が戦時日本の兵站基地としてシロンを日本に奪取せよといふのは、昨年五月の日佛印和議決定以来だ。その後、現地関係者の努力でサイゴン米の集荷配給を獨占してゐる華僑も日を迫りて積極的な協力を示すやうになり、これまでフランス本國、アメリカその他に輸出されてゐる分も本年度は全部日本へ送られる見込がついてゐる。



六十數ヶ所の精米所を多くその手中に収めて華僑がサイゴンにおける米の流通を完全に把つてゐる。

サイゴン米の盛出



米を運ぶジャンクの船主。華僑たちはどこの農村にまでも行商となつて手を伸ばし米を集めてくるのである。

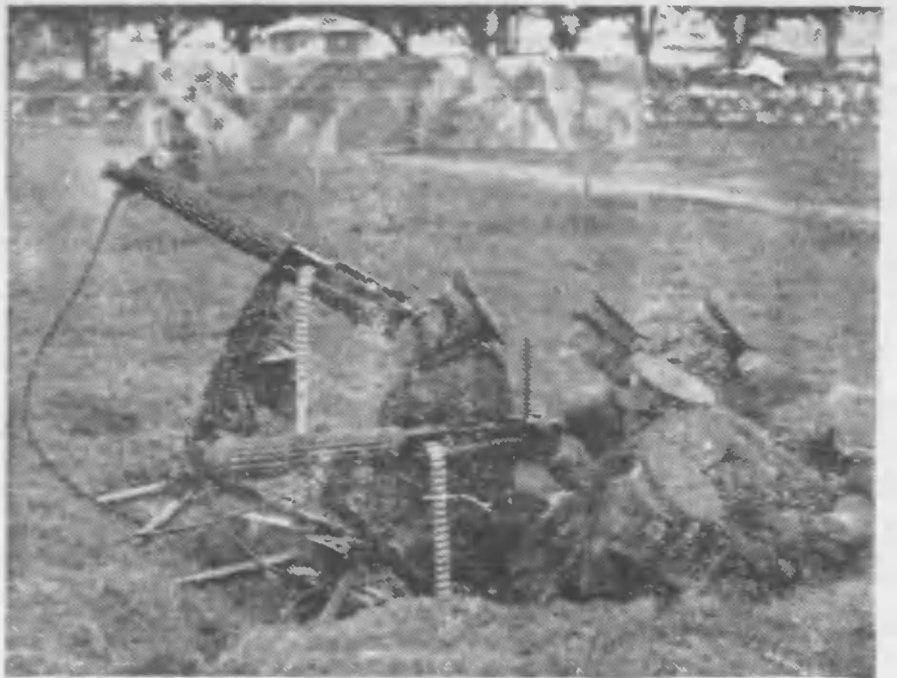


米の國、佛印はいまサイゴン米が川盛だ。メコン河の流域、交趾支那の三角地帯は、ソロンウクライナにも比ぶることのできる佛印の穀倉だ。その耕地面積は約二百二十万町歩、佛印全土の年産額を七百方トンとみて、その大半は北部のトンキンとこの交趾支那から輸出される。しかもトンキン地方は人口が稠密で、米は悉く同地方の消費にあてられるから、米の輸出は殆んど交趾支那に集中され、その年額は百五十万トンといはれる。これが有名なサイゴン米だ。



古いも若きも洗刺と近代タイの建設へ

駐タイ特命全權大使 坪上貞二



新らしきアジアの
風を浴びて、若
き世代の胸中は新
秩序の構想に燃
る。バンコク大
学、チロロンコ
ン大



タイ國は、ご
存知の通り、十
年前に立憲革命
を起し、爾來タ
イ人のタイ國を
めざして進んで
きてゐる。立憲
革命當時の指導者は、いま、日タイ攻守同盟の慶祝
使節として來朝中のビヤ・ホン中將であるが、現
在、同國の總理であるビボン氏は、當時副將格とし
て活躍された。

ビヤ・ホン内閣の後を承けて、昭和十三年の暮
にビボン内閣が出現したのであるが、その翌年の昭
和十四年六月二十四日にビボン内閣は國名を「タイ」
と改稱した。それ以來、タイでは「ラニウム」運
動と呼んで、日本を「ラニウム」と國民信條運動ともい
ふべき民族自覺運動、愛國運動、新生活運動が興つ
て、いよ／＼活潑にタイ人を新らしき國民へと導
いてゐる。

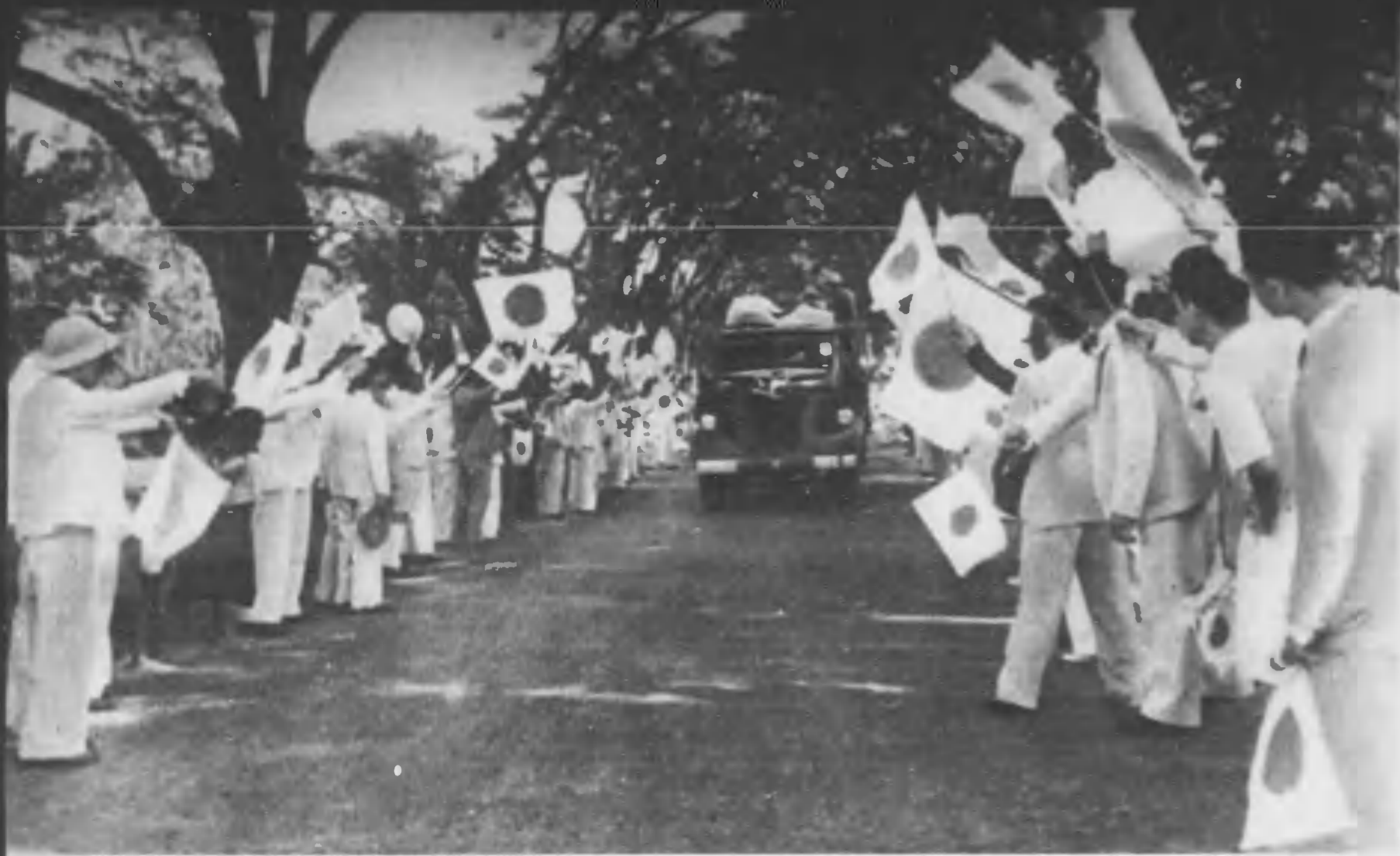
タイ人のタイ國とは、要するにアジア人のアジア
といふことであつて、アジア人のアジアを建設する
ためには、どうしても東洋の盟主である日本と手を
つないでゆかなければならぬといふのが、ビボン總
理、元老たちの意見である。そこでこんどの大東亞
戰爭には、わが國と固い同盟を結んで、軍事的、經
濟的、政治的あらゆる方面において、アジア人のた
めのアジア建設に協力してゐるわけである。

の立場から力を尽くして協力の實を擧げてゐるのであ
るが、さうした氣持は一般民衆の感情の上にも如實に
現はれてゐる。手近な例をあげるなら、タイ國人たち
はわが兵隊の軍規の厳格なことを自覺して、婦人子供に
至るまで軍軍を歓迎し、軍軍が通過する時には、タイ
特産の菓實などを山のやうに寄贈してくるといふ有様で
あり、とくにわが兵隊に對しては、心から看護婦問
し、ビボン總理の夫人まで、自ら先頭に立つて赤十字の
活動を鼓吹されるといふ状態である。

また經濟的には、戦前から非常に緊密であつたの
で、ゴム、錫以外のものはタイ國から求めることが
できなかつた状態であつたのを、タイ國はあらゆる
米英の策動妨害を排して、わが國のために活躍し
てくれたのである。さうした友情に對して、その後
ファイビン、マレーその他が攻められた後でも日本
はタイを援助する。例へばタイ國としては、その主
なる物産である米をもちや輸出する道は日本よりな
いのであるから、日本はそれを買取つてタイ國の財
政經濟の安定をはかることに努力するといつた相互
依存の關係を深くしてゐる次第である。

由來、ビボン總理の理想は、一部のタイ人を親日
的なものにするといふやうな小さなものではなく、
國民をあげて悉く日本を理解させ、アジア人の運命
は、お互ひ同一民族が固く手を握つて立つたのでなけ
れば、決して拓かれないものである、といふことを
理解させる方向に國民を指導しようといふのであつ
て、いまこれを大章になつてやつてゐる。

いはゆるラニウム運動といふのも、もちろん、さう
いつた國民指導の現はれである。大體、タイといふ國は
南方の有力な佛教國であるところから、非常に戒律を重
んずる國からである。この戒律に合するやうな生活に、
戰時國民生活を持つてゆかうと、形の上からの訓練を非
常に嚴格に行つてゐる。これが新生活運動の姿である。
そこで正しい姿勢をとる運動を國民に奨励してゐる。
さうすることによつて、自然に禮儀を正しくし、獨立自
存意識を涵養するといふところを組つてゐるのである。
國民の經濟生活でも長期戦を戦ひ抜く態勢になり切らね
ばならぬし、場合によつては非常な窮乏にも堪へねば



マレーへ、米英海軍の艦隊が南タイを掃討つたとき、
タイ國人たちは日章旗の中に埋もれて慶祝の一時射撃を浴びせた。



バンコクのスマ・スナタ女學校生徒(右)遊樂と若き
タイは躍動する。(左)雄々さがる日本の旗幟を歓迎し

ならぬかも知れぬが、さういふ場合になつても、禮儀を
正しくして堪へてゆかうといふのである。

また、例の青年運動には、ユワチオンといふ青年
團體があるが、この運動の如きも、姿を正しくし、
精神的の訓練を施すといふことに重點を置いてゐ
る。最近では週末に天幕生活をやつてゐる。これに
はビボン總理をはじめ、各大臣が先頭に立ち各省の
役人とともに歩いて行つて天幕生活をやつてゐる。
また、婦人はできるだけ帽子をかぶらねばならぬ
。これは健康の維持から唱道してゐるわけである。
それから食事の如きも、不規則な食事はいけない
。規則正しい食事を攝らなくてはならない。この
やうに形の上での極めて嚴格な訓練が行はれてゐる
のである。

しかし、この形の上での訓練は、もちろんこれによつ
て精神的の訓練を行ふのが目的であるが、と同時に、物
考へ方を正してゆく必要がある。そこで教育方面で
も、今まで盛んであつた英語教育など、教科書の改訂を
行はうとしてゐる。これは必ずしも英語を奨励するといふ
のではないが、英語による英米的の考へ方を改めよう、
かういふ方向に進んでゐる。これに反し日本語熱はない
。したもので、バンコクの日本語學校の如きは、今は六百
名を越えてゐる盛況で、設備が間に合はないといふ状態
である。しかも生徒は現に職業をもつた人が入つてゐ
るほどである。

これを要するに、今やタイ國は新らしい世界建設
戰の第一線に雄々しく躍り出て、古いも若きも洗刺
と戦つてゐる。これは決して上からの命令ではな
く、國民の内部から猛然と湧き上つてゐる國民の熱
情がさうさせてゐるのである。まことに頼もしい限
りである。

終りに、この際一言したいことは、目下東京中
のタイ國特派使節團は、主席ビヤ・ホン中將はもち
ろん、各隨員ともタイ國第一流の人たちばかりであ
つて、従つて同使節團は、タイ國としては最大の禮
を以て日本に特派されたのである。この點について
も、タイ國の對日親情が如何に深いものであるか
が汲みとられるのである。

日本に学ぶ

イタリア國慶祝使節
バビ・ホフ中将一行



よこそ、盟邦の使節―街を埋めつくし
九日タイ兩國旗

四月二十八日、一行は千葉縣陸軍野戦砲兵學校
を見學、皇軍が誇る近代兵器に感歎した

四月二十七日夕、外務大臣官舎における歓迎晩
餐會

外務大臣官舎で催された歓迎晩餐會席上、バビ・
ホフ中将は「タイ國はできる限りの協力を惜
しまない」と力強い答辭を述べた

日タイ友好關係締結の慶
祝使節バビ・ホフ中将の
一行は、四月二十五日無
事入京以來、わが朝野を挙
げての熱烈な歓迎のうちに各
方面を視察中であるが、大
東亞の盟主として長期戦下
寸分のゆるみもないわが總
統府は、必ずや多大の
厚誼を一行に與へたこと
であらう



五月一日、一行は横濱を訪れ、「見敵必殺」
のわが海軍旗にふれた。軍艦三笠のブリッジ
を降りる使節



深々たる砂塵中に展開する對戰軍砲擊戰「ホホ
ウ」と、流石は軍人らしい觀察のバビ・ホフ
中将、千葉縣下志津原にて





移動の幼稚園

東京市野外
保育奉仕班

「くるくまはれ、くるくまはれ、ころんちやだめよ、さあ今度は誰のばん」
「もうすぐよ、一寸待つてね。今日はもうこれで五足めよ」



指導者さへあれば、すぐに子供は仲よしです。手風琴のリズムに乗ってゴッポの遊戯も上手です。
「もうきつと子供達まつてゐるわよ」きつと、この紙芝居の幕どうやつて揚げるの「死はもうこれくらゐで薄山ね」出役準備にも賑やかな会話と笑聲が――

この頃の街の子供は遊びを忘れてゐます。子供同士の連絡のとれた遊びはあまり知つてをりません。それは子供達のより合ふ場所が少いせふだと思ひます。ゴッポをはこんで来て自由にマ、ゴトのできる場所、お相撲のできる場所がどの子供にも與へられたらどんなにいいか知れません。
これは東京市深川區の富岡八幡境内の野外保育練成所に保育奉仕班員として参加された小杉信得さん(市立第一高女卒業生)の感想の一節です。
遊び場といつても日蔭の露路や危い路傍しかないやうな都會地、ことに戦時下、空襲地の利用等で僅かに残されてゐた空地からさへも閉め出された子供達のために、お寺や神社の境内や残された空地を利用して子供達を危険から守り、そこで日本的な情操を培ひ育んで、明日の日本を背負ふにふさはしい



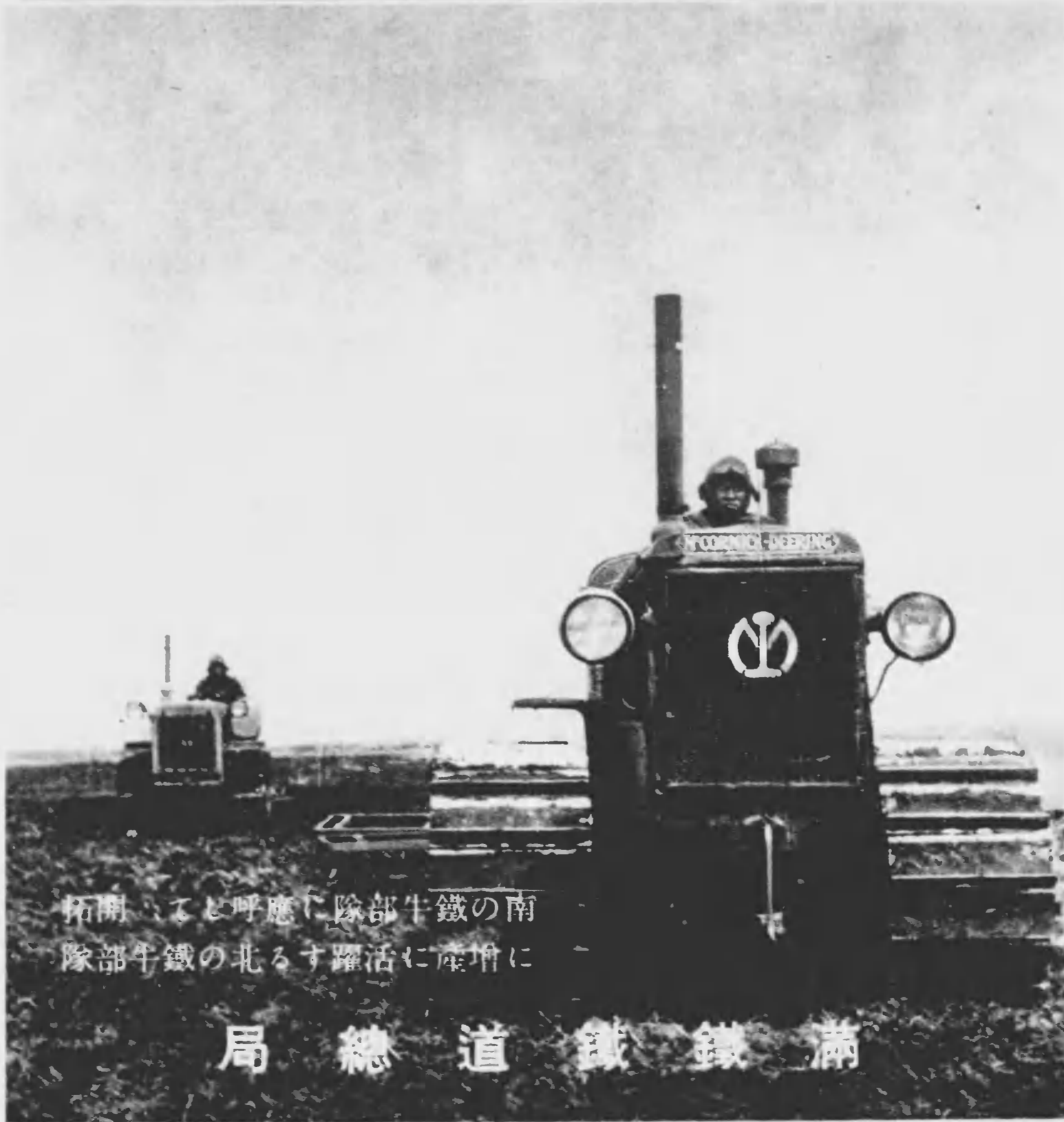
よい子、強い子を育て上げようと、東京市では女學校を卒業して未だ就職をしてゐない人々の協力を得て野外保育奉仕班を組織し、各區の方面館託児所等と連絡をとつて野外保育練成所を開設しました。明るい春の陽を浴びて、あの子もこの子も大はしやきです。「センセイ、センセイ」そこでもこでもお口を揃へて子供のやうに、可愛い聲が呼んでます。「ハイ、今度はゴッポのお遊戯」水兵服に白エプロンのお姉さんのやうな先生です。春の日ざかり、霞さがり、八幡様の廣場では、よい子、強い子大勢が、もつとよい子になるやうに、もつと強い子になれるよに、可愛い先生に手を引かれ、飛んだり跳ねたりしてゐます。きつとよい子になるでせう。きつと強い子になれるでせう。
百五、六十人も集つたこの子供達の樂園には眩しいほどの春の陽が溢れてゐます

「お、強い、もう泣くんぢやありませんよ」保健婦さんと教態箱が早速やくに立ちました。
「見合つての一聲にちび力士入念に仕切つてゐます」
「センセイサヨナラ、センセイサヨウナラ、サヨナラ」さようなら、またあした遊びませうね」

写真週報 昭和十一年十月十日 第三千七百九十九号 発行所 東京 丸の内 丸の内印刷局

建國十周年

興亞の據卓大満洲



拓開して呼應に隊部牛鐵の南
隊部牛鐵の北るす躍活に産増に

滿鐵鐵道總局

内閣印刷局印刷發行

(内閣印刷局-A4規格定価は23大の資本)